



健幸イノベーション開発研究センター

令和2年7月1日発足

心と身体の健康を創るウェルネス社会の実現を目指して

少子高齢化と労働人口の減少が加速度的に進む昨今、健康寿命を延ばすための方法や技術、具体的サービスの重要性が増えています。

健幸イノベーション開発研究センターは、食素材と食以外の外用素材の機能性、および香りや光などの感覚刺激の機能性などを様々なモデル生物系を用いて評価し、健康寿命の延伸に関わる素材や感覚刺激環境の開発研究を推進します。さらに、社会実装に向けた技術・方法を開発し、具体的サービス(製品化プロトコル、コンサルタント、情報発信など)の提供を通じて、心身の健康長寿を推進する社会の実現を目指します。

本センターを拠点として、心身共に健康で幸福感を実感できる健康長寿(ウェルネス)社会の実現を目指します。



坂本 和一 センター長

センターのミッション

食・非食・刺激などのもつ生理機能を探索・解析し、健康寿命を延ばす技術や方法、サービスを開発し、社会に還元する。



健康素材(食・非食)の機能性

リサーチ部門

健康寿命・ヘルスケア全般にかかる基礎研究の推進



健康刺激(香り・光など)の機能性

情報・広報部門

シンポジウム、公開講座、セミナーなど情報発信の推進

人材育成



- ・包括的かつ横断的な研究環境の整備
- ・国際的に活躍できる人材の育成

産官学連携



- ・統合的・効率的な研究の推進
- ・異分野連携、新規産業創出の推進

国際連携



- ・海外の大学、研究機関、企業との人材交流や共同研究の推進

技術、方法、サービスの提供



心と身体の健康長寿(ウェルネス)社会の実現

少子高齢化対策

労働人口対策

医療費削減



健康長寿



幸福感

